

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果		満足度	補足
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模企業を中心に、経営指導員等商工会職員が巡回及び窓口にて事業者の経営、労務等の相談対応し、経営及び技術の改善を図り、経営課題の解決に繋がる支援を行う。	1. 巡回窓口指導延件数 464件 (内非会員 4件) 2. 巡回窓口指導実企業数 120件 (内非会員 2件) 3. 課題解決提案件数 6件 4. 経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 136.5%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 30.0%)	経営指導員が2名体制に戻り、専門家を活用して内容の濃い支援を行った。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	課題解決提案件数が伸びないので課題解決提案に繋げるためのきっかけづくりを模索する。
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 37件 2. 指導日数 236日 3. 指導回数 533回	小規模事業者	指標	指導対象者数（人） (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営状況の把握に繋げる。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 B	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	引続き適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図る。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって要な経営分析、事業計画策定等の知識習得や自治的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 ①実施回数 8回 ②参加者数 82人 2. 個別講習会 ①実施回数 12回 ②参加者数 56人	小規模事業者	指標	実施回数（回） (達成度 105.3%)	指標	参加者数 (達成度 89.6%)	参加者数は目標値に届いていないが、インボイス及び電子帳簿保存法の実務セミナーには目標に近い参加者を得た。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 上げる 実施方法② 現行どおり	受講者を増やせる内容を模索する。
青年部・女性部事業	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	1. 青年部活動 ①加入者数 15人 ②参加者数 129人 ・会議 85人 2. 女性部活動 ①加入者数 25人 ②参加者数 34人 ・会議 111人	小規模事業者	指標	加入者数（人） (達成度 100.0%)	指標	事業等参加者数（人） (達成度 123.8%)	コロナ明けにより事業が復活し、参加人数が増えた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 B	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	高齢による脱会者もあり、目標値を抑えた。
地域振興まつり事業	本宮まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域活性化促進及び地域物産の向上に努め地域観光資源（本宮の湯、砥鹿神社など）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 本宮まつり 開催日：10月29日（日） 地域活性化促進及び地域物産PR活動、集客イベント等を実施。 出店件数 12件	小規模事業者	指標	出店事業所数（件） (本宮まつり) (達成度 120.0%)	指標	(達成度 %)	4年ぶりの開催であったが予想以上の入出を得た。ただし、出店者よりもう少し集客を期待する意見があったので検討が必要。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	集客を増加させるイベント内容を模索する。
産業活性化事業	商業部会年末大売出しなど、地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	1. 商業部会年末ジャンボ大売出し ①実施日 11月30日から5日間 ②三角くじ販売口数 260口	小規模事業者	指標	大売出し販売口数（口） (達成度 162.5%)	指標	(達成度 %)	1店舗で大量の販売口数があったため、数値が上がっているが、参加店舗数が減ったので実施内容の検討をする。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 廃止 実施方法① 変更する	目標② 実施方法②	実施内容を変更するため検討中。目標値を三角くじ販売口数から大売出し参加店舗数に変更する。
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員に有益な情報を提供し、ビジネスチャンスの拡大や経営の質を高めるための取組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	1. ホームページ（情報提供） 一宮商工会ホームページによる小規模事業者、地域住民への情報提供 一宮商工会HP更新回数 87回	小規模事業者	指標	一宮商工会HPの更新回数（回） (達成度 87.0%)	指標	(達成度 %)	新しい情報へ随時更新出来ている。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	スマートフォンで見ることができるがPCと同じ画面ではないので見やすいレイアウトに変更する必要がある。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価側	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②			
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことで、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適正徴収を図ることを目的とする。	1. 事務委託事業所数 28件	小規模事業者	指標	事務委託事業所数（件） （達成度 90.3 %）			指標	（達成度 %）			労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり進めていく。
目標数値	31	実績数値	28	目標数値		実績数値			A	B	必要性					現行どおり		実施方法①		実施方法②		
経営強化事業（一宮経済同友会）	講演会、異業種交流を兼ねた懇談会を実施し、各企業の経営基盤の強化、ビジネスチャンスの創生により、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. 加入者数 31人 2. 役員会議他 ①会議実施回数 7回 ②参加者数 ・会議 62人 ・事業 84人	小規模事業者	指標	加入者数（人） （達成度 83.8 %）			指標	事業等参加者数（人） （達成度 97.3 %）			止むおえない事情で、加入者数が減少しているが、目標値にちかい参加者数を得た。	総合評価	B	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり進めていく。
目標数値	37	実績数値	31	目標数値	150	実績数値	146				B					B		必要性		B	現行どおり	
産業団体事業（一宮飲食店組合）	各種団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより商工業の活性化に資することを目的とする。	1. 産業団体加入事業所数 飲食店組合 加入者数 35人	小規模事業者	指標	加入者数（人） （達成度 100.0 %）			指標	（達成度 %）			産業団体を支援することにより組織の活性化に繋がった。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	廃業により目標値を下げ、事業を進める。
目標数値	35	実績数値	35	目標数値		実績数値					A					B		必要性		B	下げる	
若手後継者育成セミナー	現在、青年部員の数は横ばいを推移し活動を進めていくのが難しくなっている。経営者となる若手後継者及び若手経営者がこのような状況下でも今後変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのために本事業を活用し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための勉強会を開催することで、若手後継者、若手経営者のレベルアップを目的とする。	1. 若手後継者育成セミナー「SNS販促セミナー」 ①実施回数 1回 ②参加者数 15人	小規模事業者	指標	セミナー参加者数（人） （達成度 300.0 %）			指標	セミナー参加者満足度（%） （達成度 125.0 %）			今回は主にSNSを使用した販売促進の方法について講習会を開催し、実際の事例をもとに販促方法について学んだ。参加者も熱心に聴講され質問も活発に出るなど、今後の経営の一助になったと考えられる。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も現行どおり進め、若手後継者等の支援を行っていく。
目標数値	5	実績数値	15	目標数値	80	実績数値	100				A					B		必要性		B	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。